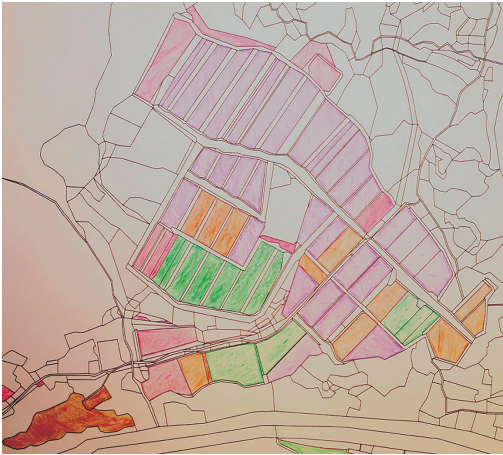


5

耕作状況調査結果 — 団地ごと —

水系ごとに分かれている田のまとまりを「団地」と呼んでいる。団地ごとにそれぞれ、現在の耕作状況と10年後の耕作状況予測、また、現在耕作されている田については耕作者の年代を聞き取りし、色分けをして可視化した。



【 現状 】

- 緑：耕作している
- 紫：減反（そば栽培）
- 茶：減反
- 赤：耕作していない



【 10年後予測 】

- 緑：耕作している
- 黄：分からない
- 赤：耕作していない



【 年代 】

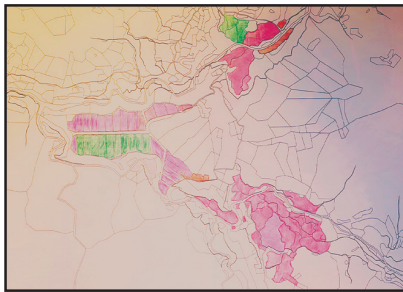
- 青：40代
- 緑：50代
- 黄：60代
- 橙：70代
- 赤：80代

1

あかだ 試田・赤田

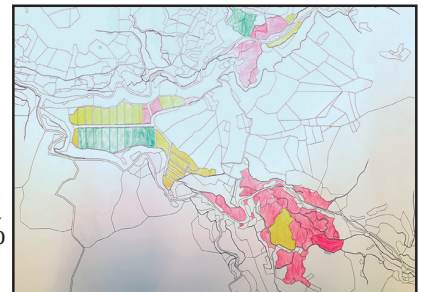
広さ	27.481反	耕作軒数 (9年前との比較)	5軒→3軒 (-2軒)
標高	80~90m	集落からの距離	2km
水路	1.5km。ほとんど管が入っている。		
獣害	あり。ヒル。サル。サルの被害が多いため、電気柵をしている。		
田んぼ状況	良い。		
土質	良い。		
畦	草刈り1回で届く程度のため良い方。		
良いところ	手間がかからず、収量が安定している。		
悪いところ	ヒルとサルの被害があること。		

《 耕作状況と10年後予測 》

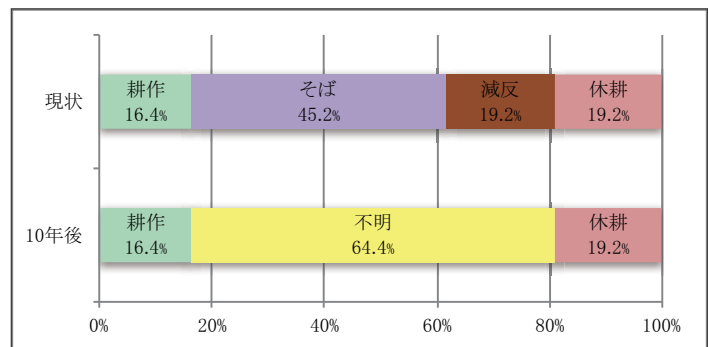


現状 16.9%

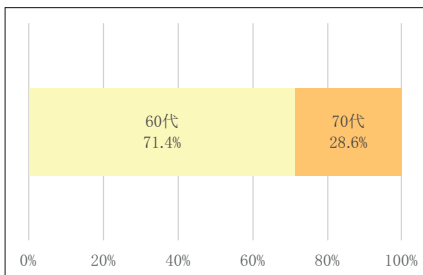
10年後 16.9%
(-0%)



	耕作率 (%)
2008年現状 (A)	82.1
2018年予測 (B)	35.1
2017年現状 (C)	16.9
2027年予測	16.9
現状の差 (A-C)	-65.2
予測との差 (B-C)	-18.2



《 耕作者年代構成 》



【 考 察 】

サルの被害がひどいため、管理が難しい。軒数が少ないために1軒やめると先行きが不透明。

2

やなぎしみず 柳清水

広さ	63.351反	耕作軒数 (9年前との比較)	12軒→11軒(-1軒)
標高	70~100m	集落からの距離	1.1km
水路	奥田から1km以上水路を引いている。パイプ(蛇腹管)400mm径。3日に1回入り口のゴミを取る。ベニヤを敷いて水の流れを変える。水量もある。		
獣害	なし。		
田んぼ状況	水が多い。ぬかるむところが3枚あり、そこは機械が沈んでしまうため耕作していない。急なところは少ない。		
土質	粘土、砂質のところバラバラ。		
畦	少ない方。高根の中では小さい。		
良いところ	畦が少ないから、草刈りの面積が少なくすむ。		
悪いところ	特になし。		

《耕作状況と10年後予測》

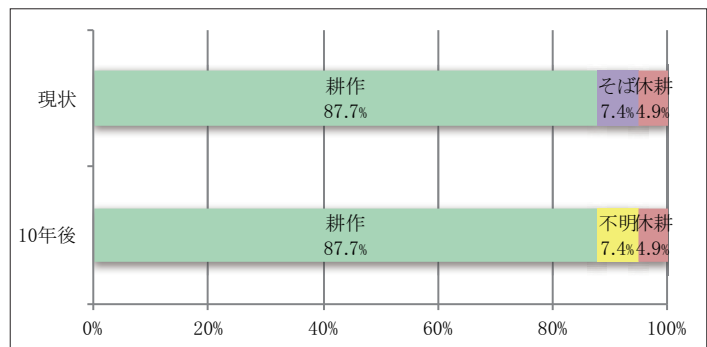


現状 87.7%

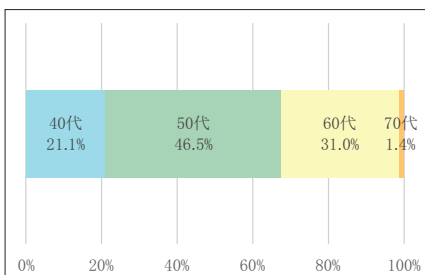
10年後 87.7%
(-0%)



	耕作率 (%)
2008年現状(A)	97.4
2018年予測(B)	91.0
2017年現状(C)	87.7
2027年予測	87.7
現状の差(A-C)	-9.7
予測との差(B-C)	-3.3



《耕作者年代構成》

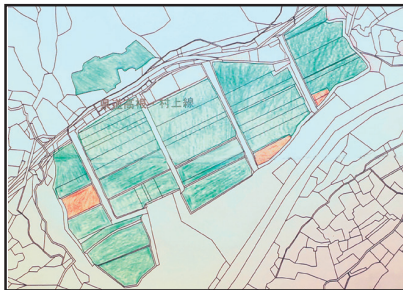


【考察】

集落からも距離が近く、耕作しやすい。畦が少なく、水量もあり条件がいい。県道沿いで交通量もあるので、サルの被害は少ないと思われる。悪い条件が少ないので、誰かがやめたとしても、他の人が耕作する可能性が高い。

広さ	41.018 反	耕作軒数 (9年前との比較)	12軒→8軒 (-4軒)
標高	70~100m	集落からの距離	600m
水路	土水路(蛇腹管、U字溝)。水は十分にある。		
獣害	あり(サル・クマ)		
田んぼ状況	機械の出入り問題なし(落差20m)田の広さは1.5ha、他と比べて普通。		
土質	良いが、時々うねったり、乾いたりがある。昔から改良して良くなっている。深さ、水はけも良くなった。		
畦	草刈りは年に3、4回。他と比較しても大変ではない。斜めだが広くなく作業しやすい。		
良いところ	家から近い。道路脇で見晴らしが良い。		
悪いところ	サルとクマが出る。高齢化は問題。		

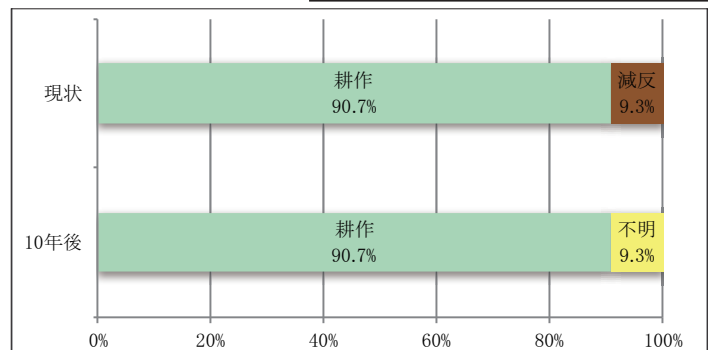
《耕作状況と10年後予測》



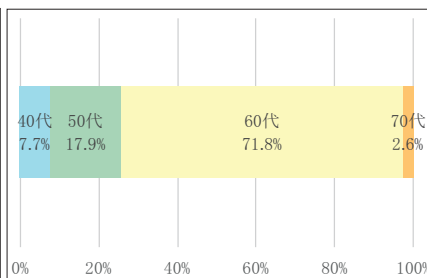
現状 90.7%

10年後 90.7%
(-0%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	95.7
2018年予測(B)	80.9
2017年現状(C)	90.7
2027年予測	90.7
現状の差(A-C)	-5.0
予測との差(B-C)	+9.8



《耕作者年代構成》



【考察】

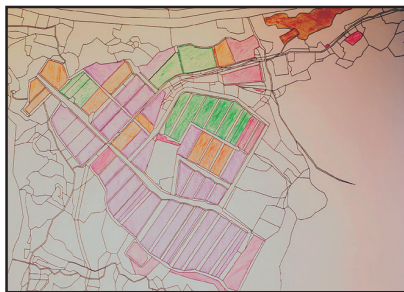
柳清水とほぼ同条件。便の良い場所のため育苗ハウスを立てている農家が多い。60代以上の耕作者がほとんどだが、条件が良いため、誰かが引き継ぐ可能性が高く、10年後の予測も変わらない耕作状況になっている。

4

こがさき 小ヶ崎

広さ	59.452反	耕作軒数 (9年前との比較)	12軒→3軒(-9軒)
標高	80~120m	集落からの距離	800m
水路	距離は3km。蛇腹管、土側溝。水量は多いが水路の事情で水が来ない。		
獣害	あり(サル・オカヒル)		
田んぼ状況	やりやすい。機械も入れる。		
土質	良い。		
畦	高い所が多い。草は刈りにくい。		
良いところ	集落から近く、水さえ来れば管理しやすく、おいしいお米がとれる。		
悪いところ	水が少ない。ヒルが多い。		

《耕作状況と10年後予測》

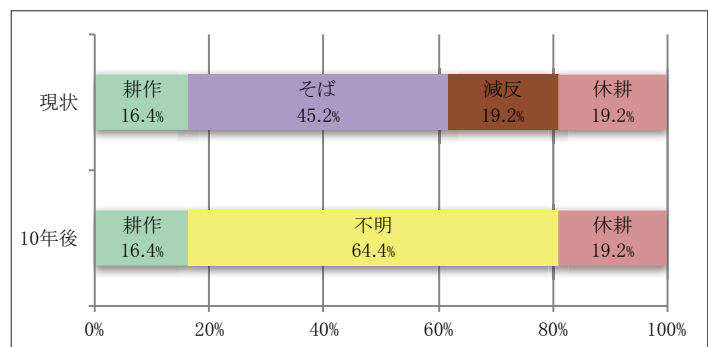


現状 16.4%

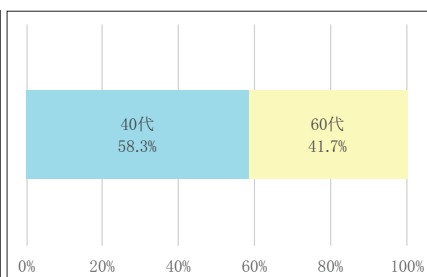
↓
10年後 16.4%
(-0%)



	耕作率 (%)
2008年現状(A)	82.6
2018年予測(B)	45.6
2017年現状(C)	16.4
2027年予測	16.4
現状の差(A-C)	-66.2
予測との差(B-C)	-29.2



《耕作者年代構成》

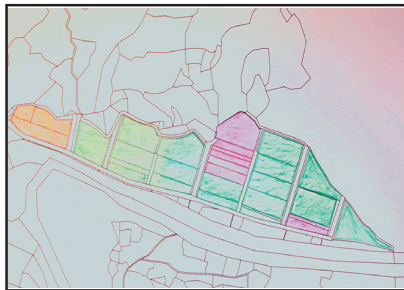


【考察】

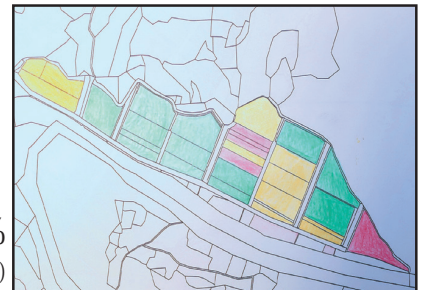
水路が悪く、獣害が深刻。すでに9年前の予想を超える減少数。溜め池をつくるなど水の管理ができるようにすることが必要。今後の状況次第では耕作軒数がゼロになる可能性が最も高い団地のひとつ。

広さ	24.122反	耕作軒数 (9年前との比較)	6軒→5軒(-1軒)
標高	80m	集落からの距離	1km
水路	100m程度。水路は3か所あり。沢から流れてくる自然のまま側溝に流している。奥の方は水少なめだが特に支障はなし。岩魚がいることも。		
獣害	あり(サル:以前より少なくなった)		
田んぼ状況	平均的。集落に近く、道路も広い。日当たりも良い。		
土質	湿田。水持ちは良い。管理が楽。8月の一番水が欲しい時期に水が残るから良い。山沿いの方は深めで、たまに機械が埋まることもある。		
畦	広くはない(30cm)。草刈りしやすい。		
良いところ	管理しやすい。日当たりが良い。集落に近い。		
悪いところ	高齢化。後継者がいない。		

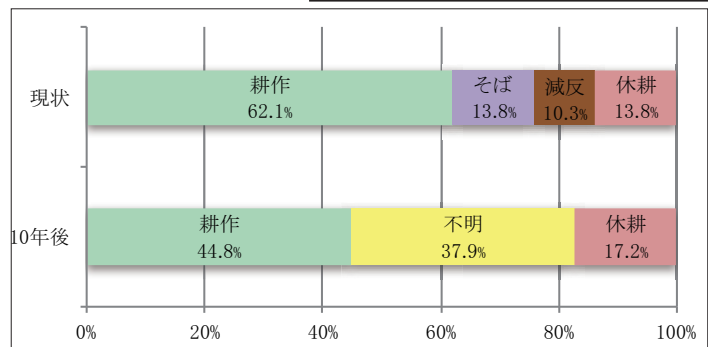
《耕作状況と10年後予測》



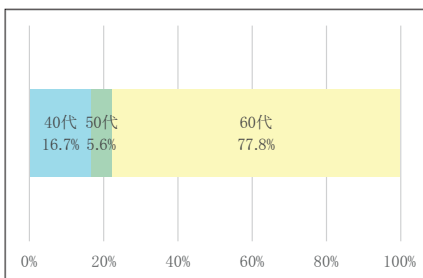
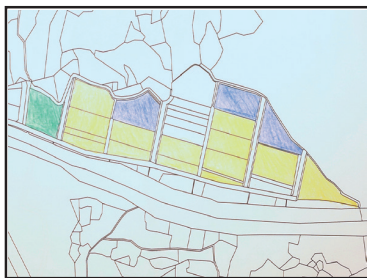
現状 62.1%

10年後 44.8%
(-17.3%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	86.1
2018年予測(B)	45.6
2017年現状(C)	62.1
2027年予測	44.8
現状の差(A-C)	-24.0
予測との差(B-C)	+16.5



《耕作者年代構成》



【考察】

自然の水路なので他の団地に比べて手間は少ない。深い田んぼもあり、難しさはあるが、畦の狭さ等を考えれば条件は良い団地。最近ではイノシシが出るようになったため、今後獣害が増える可能性も考えられる。

広さ	151.821 反	耕作軒数 (9年前との比較)	20 軒→20 軒 (±0 軒)
標高	70~110m	集落からの距離	500m
水路	水量が豊富で良い。水路の距離が近い(最寄り 500m、一番下約 1 km)。雨が降りそうときは水門を止めに行く。		
獣害	あり(サル、イノシシ?)		
田んぼ状況	大きい田んぼが多く、やりやすい。特に問題なし。		
土質	良好(上下場所によって違う)		
畦	良好		
良いところ	耕作者も多く、集落から近いため、管理しやすい。		
悪いところ	水が多すぎる。台風等で落ち葉が溜まると水がオーバーフローする。		

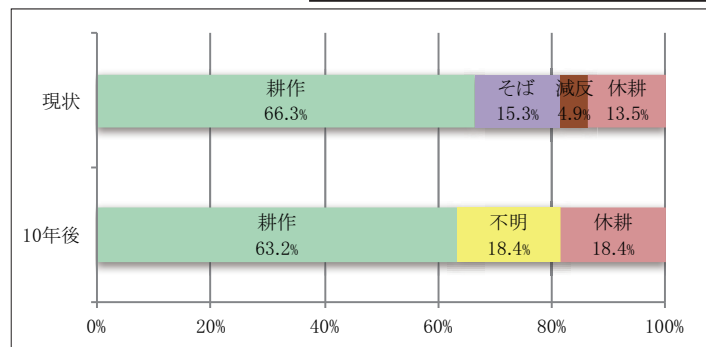
《 耕作状況と 10 年後予測 》



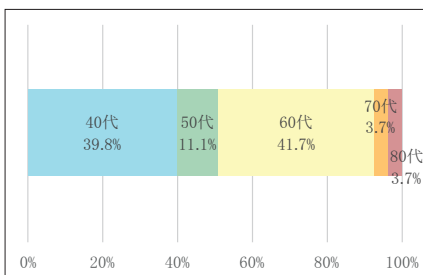
現状 66.3%

10 年後 63.2%
(-2.1%)

	耕作率 (%)
2008 年現状 (A)	86.3
2018 年予測 (B)	72.8
2017 年現状 (C)	66.3
2027 年予測	63.2
現状の差 (A - C)	-20.0
予測との差 (B - C)	-6.5



《 耕作者年代構成 》

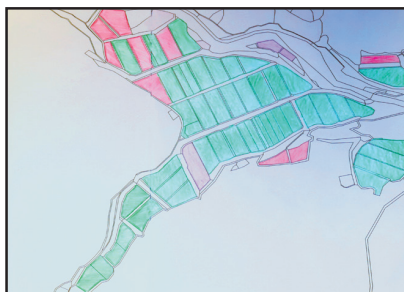


【 考 察 】

9年前から耕作軒数が減っていないのは条件の良さがもたらす数字だと思われる。今後も見通しが立てやすい団地ではあるが後継者問題があるため、耕作地の集約など効率化を図る必要がある。

広さ	46.689反	耕作軒数 (9年前との比較)	10軒→7軒(-3軒)
標高	100~120m	集落からの距離	1.5km
水路	U字溝。大きな沢の水を引いており、水量あり。		
獣害	サル・イノシシ(去年、今年の春から目撃されている)		
田んぼ状況	広い方。1反くらい。形が悪く、稲を植えるのも刈るのも大変。出入りするところが狭くて大きな機械だと苦勞する。		
土質	黒っぽい土でやわらかめ。湧き水が出る田んぼもある。深い田は水処理が大変で、せき止めないと干上がらない。		
畦	畦が高く2mくらいになるところもある。草を枯らすと畦が崩れるため、草刈は年3、4回行う。		
良いところ	水についての心配がない。米質が良い。		
悪いところ	水が多い。		

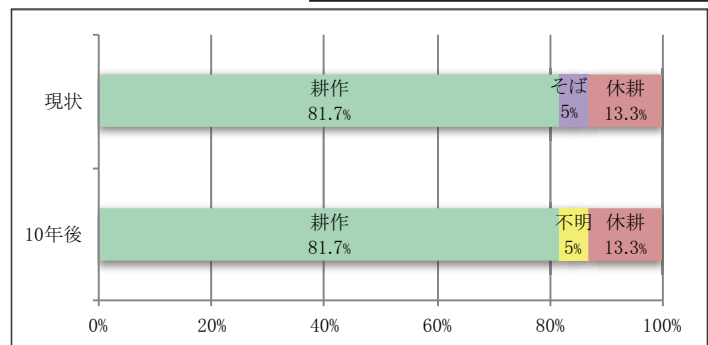
《耕作状況と10年後予測》



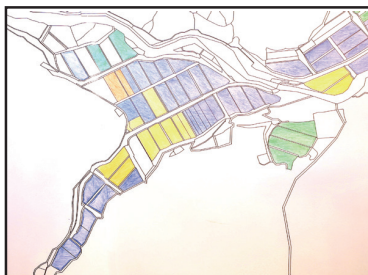
現状 81.7%

10年後 81.7%
(-0%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	86.1
2018年予測(B)	45.6
2017年現状(C)	81.7
2027年予測	81.7
現状の差(A-C)	-4.4
予測との差(B-C)	+36.1



《耕作者年代構成》

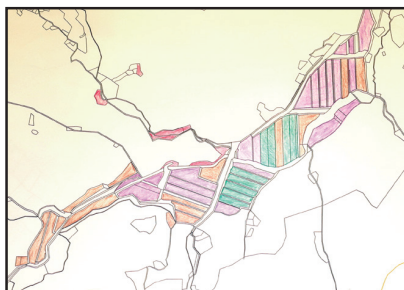


【考察】

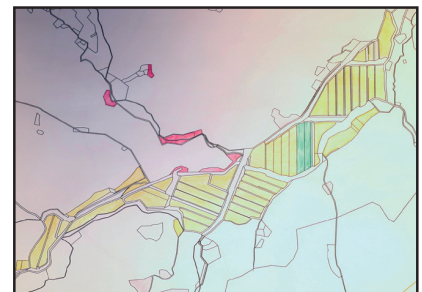
9年前の予想よりはるかに良い数字なのは、若手農家による集約の結果が大きい。水量が多く、他の団地に比べ水についての心配がないことが耕作継続につながっていると考えられる。

広さ	30.283 反	耕作軒数 (9年前との比較)	4軒→2軒 (-2軒)
標高	150~180m	集落からの距離	3km
水路	とても良い。高さがあるため、草刈りは大変だが、近いし水量がある。		
獣害	あり (サル、クマ)		
田んぼ状況	広さはほとんどが1反ない (0.5~0.9反)。機械が入りにくい。		
土質	割と良い。土の色が違う。		
畦	草刈りは2回くらい行う。		
良いところ	なし。		
悪いところ	遠い。道路が狭い。		

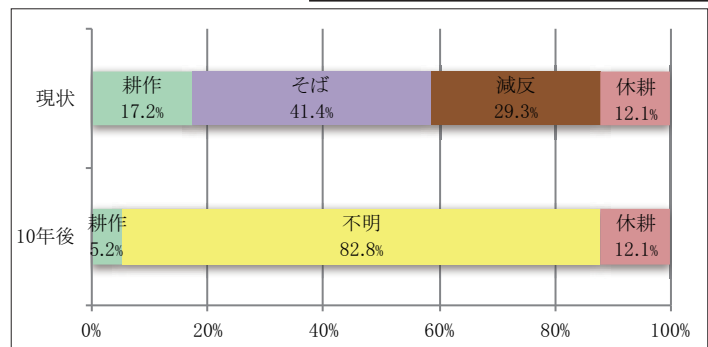
《 耕作状況と10年後予測 》



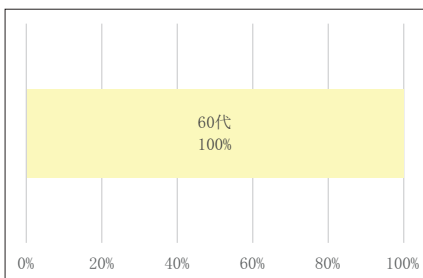
現状 17.2%

10年後 5.2%
(-12.0%)

	耕作率 (%)
2008年現状 (A)	58.8
2018年予測 (B)	51.0
2017年現状 (C)	17.2
2027年予測	5.2
現状の差 (A-C)	-41.6
予測との差 (B-C)	-33.8



《 耕作者年代構成 》

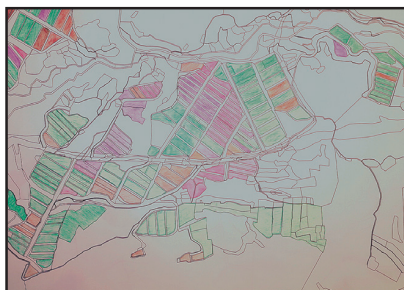


【 考 察 】

水害の影響で崩れてやめる人が出た。水路の条件は良いが、サルと水害の影響が大きい。軒数も半減し、10年後の見通しはかなり厳しい。

広さ	84,194反	耕作軒数 (9年前との比較)	11軒→5軒(-6軒)
標高	150~230m	集落からの距離	2.5km
水路	3km引いている。山の方はパイプ、U字溝。水量多く管理状況も良い。		
獣害	あり(サル・クマ)		
田んぼ状況	上の方は小さい田もある。一番大きい田は3反で機械が入りやすい。		
土質	赤土のような粘土系質。水はけ良い。深さもちょうど良い。		
畦	一番高いところで3m。広いところだと田んぼと同じ面積の畦がある。		
良いところ	水が豊富。道を作ったため、交通の便が良くなった。 水路がパイプになったため管理が楽になった。		
悪いところ	サルが多い。サル避けとして爆音機を置いている。風の通り道になる。		

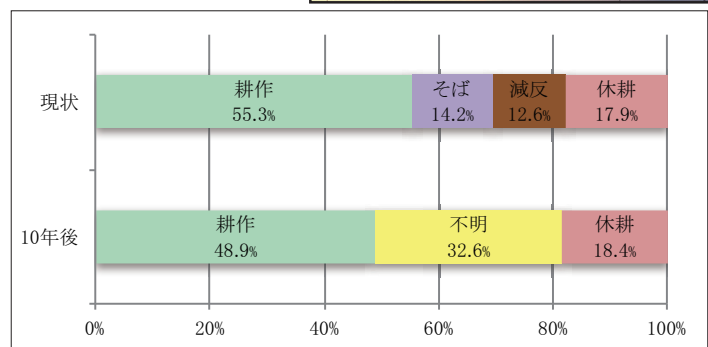
《耕作状況と10年後予測》



現状 55.3%

 ↓
 10年後 48.9%
 (-6.4%)


	耕作率 (%)
2008年現状(A)	82.1
2018年予測(B)	35.1
2017年現状(C)	55.3
2027年予測	48.9
現状の差(A-C)	-26.8
予測との差(B-C)	+20.2



《耕作者年代構成》

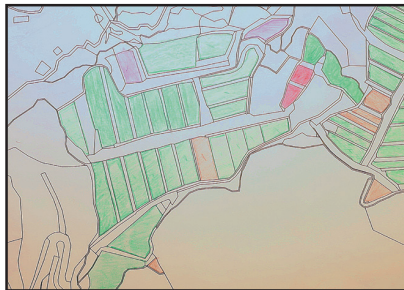


【考察】

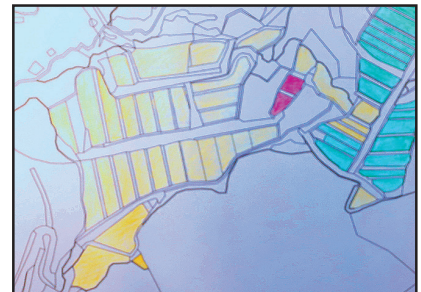
9年前の予測ほどはひどくならずにはすんでいるが、軒数は半減している。若い人一人のおかげでもっている。その人が他の団地に集約したら、どのようになるか分からない。

広さ	26.309反	耕作軒数 (9年前との比較)	6軒→4軒(-2軒)
標高	200~230m	集落からの距離	3km
水路	距離250m。U字溝。水を引く前、春に落葉掃除をする。稲刈り後に水を溜める。水が足りないことはないが4軒が一斉に水を使うと少し足りない。		
獣害	あり(サル・少ないがクマ)		
田んぼ状況	広さ8aくらい。大きいのは18a。機械を入れるには急坂。		
土質	湿田。深く、危ないところは減反しているが、少ない方。		
畦	10mから20m広い。狭いところもある。		
良いところ	米の量が安定して取れる。		
悪いところ	畦がありすぎて草刈りが大変。サルの被害が大きい。		

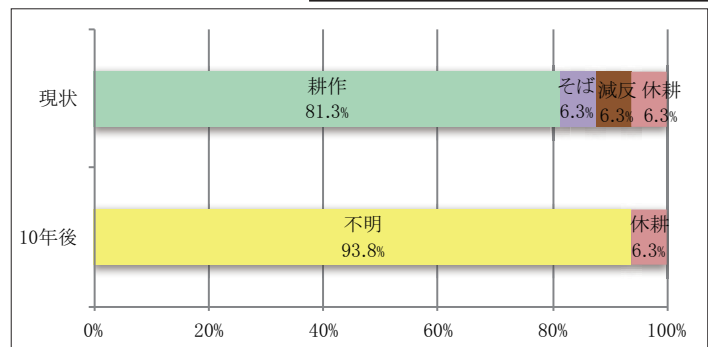
《耕作状況と10年後予測》



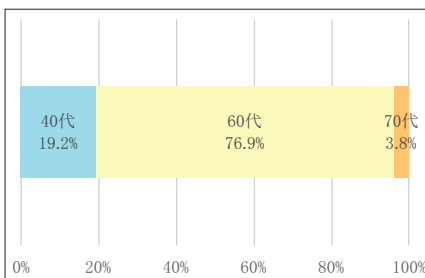
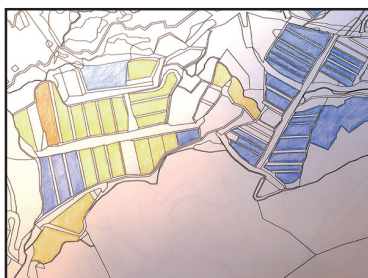
現状 81.3%

10年後 0.0%
(-81.3%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	100.0
2018年予測(B)	95.0
2017年現状(C)	81.3
2027年予測	0.0
現状の差(A-C)	-18.7
予測との差(B-C)	-13.7



《耕作者年代構成》

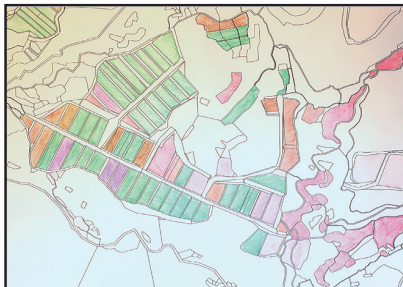


【考察】

10年後の予測は0%になっているが、条件が悪いわけではない。畦の広さと年代を考えて、分からないという回答になっているため、実際は耕作を継続できる可能性もある。

広さ	56,553 反	耕作軒数 (9年前との比較)	14 軒→9 軒 (-5 軒)
標高	180~220m	集落からの距離	3.5km
水路	U字溝。距離は結構長め。水量は豊富。		
獣害	あり(サル・ハクビシン・タヌキ)		
田んぼ状況	機械が入りやすい。		
土質	乾田、湿田両方ある。山の水が浸透するところあり稲刈りのとき大変。		
畦	他のところの倍ほど広いため草刈りが大変。畦のほうが田より広い。		
良いところ	水は山の水できれい。		
悪いところ	草刈りが大変なため若い人でも辞めてしまう。 後継者不足(今一番若い人が56歳)		

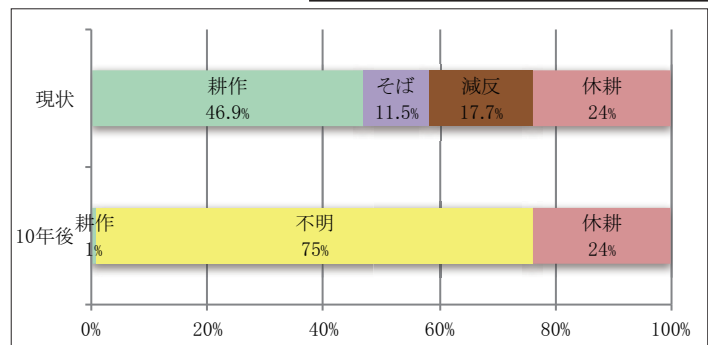
《 耕作状況と10年後予測 》



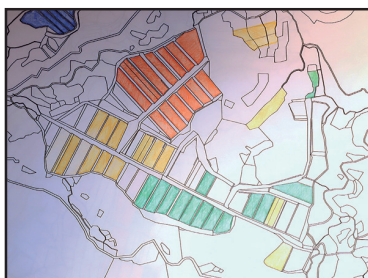
現状 46.9%

10年後 1.0%
(-45.9%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	60.3
2018年予測(B)	41.4
2017年現状(C)	46.9
2027年予測	1.0
現状の差(A-C)	-13.4
予測との差(B-C)	-5.5



《 耕作者年代構成 》



【 考 察 】

畦の広さは相当な負担になっている。10年後にやっていないという可能性は低い、農地の集約は必要になってくると思われる。

広さ	193.133反	耕作軒数 (9年前との比較)	20軒→14軒 (-6軒)
標高	270~350m	集落からの距離	4.5km
水路	パイプ。溜め池2つあり交代で管理している。春は水量多いが夏は少ない。		
獣害	あり(サル・たまにクマ)		
田んぼ状況	広い方(2反)で機械も入りやすい。		
土質	ちょうどいい。粘土と乾燥の間。黒ボク土。		
畦	畦が広い。田と田の間が広く急なので管理がすごく大変。		
良いところ	日当たりが良い一等地。5時から19時まで光があたる。		
悪いところ	水不足(梅雨に降らないとまかなえない)。水番を時間によって分けて決めて、上の方と下の方の田で差が出ないようにしている。		

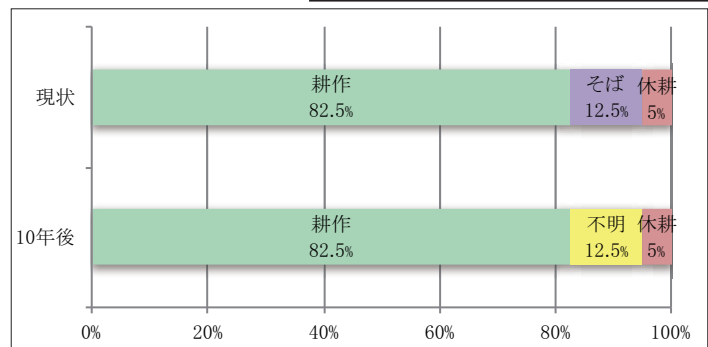
《耕作状況と10年後予測》



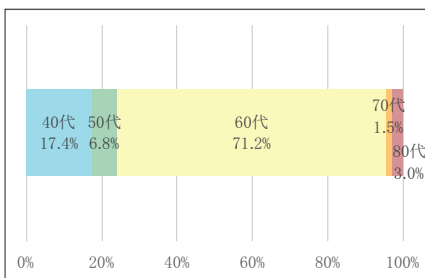
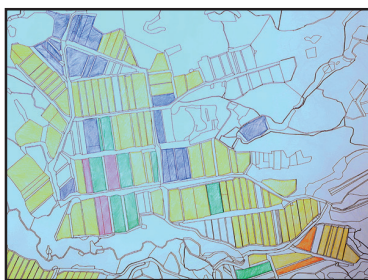
現状 82.5%

10年後 82.5%
(-0%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	82.7
2018年予測(B)	82.7
2017年現状(C)	82.5
2027年予測	82.5
現状の差(A-C)	-0.2
予測との差(B-C)	-0.2



《耕作者年代構成》

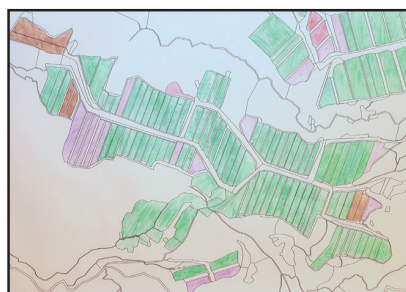


【考察】

軒数は減ったが耕作面積に変化なし。一等地のため、これから田んぼの集約が進んでいったときに、耕作が継続されている可能性が高い団地だと考えられる。

広さ	89,149反	耕作軒数 (9年前との比較)	10軒→8軒(-2軒)
標高	310~390m	集落からの距離	5km
水路	距離300m。1つU字溝(蓋付き)2つジャバラ管が入っている。水量多い。		
獣害	あり(サル・クマ)		
田んぼ状況	広さ平均7aくらい。広い田んぼは少ないが機械は入りやすい。		
土質	通常の湿気。深さは浅いのと少し深いものがある。		
畦	畦は平均2mくらい。		
良いところ	空気、水がきれい、温度差があるから美味しい米になる。		
悪いところ	気温が低い。		

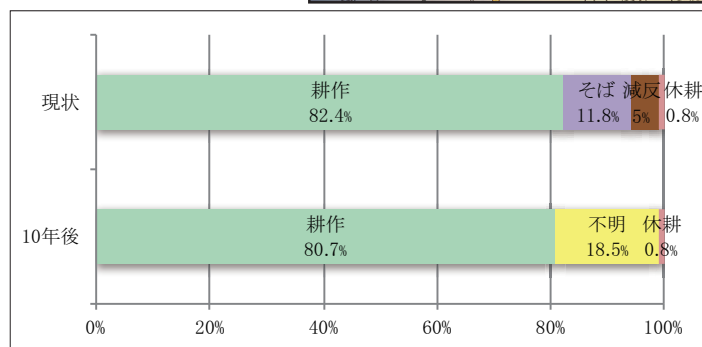
《耕作状況と10年後予測》



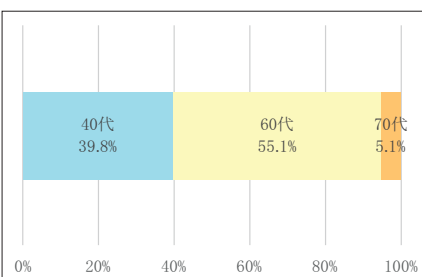
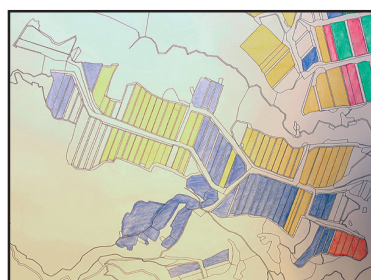
現状 82.4%

10年後 80.7%
(-1.7%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	82.8
2018年予測(B)	73.6
2017年現状(C)	82.4
2027年予測	80.7
現状の差(A-C)	-0.4
予測との差(B-C)	+8.8



《耕作者年代構成》

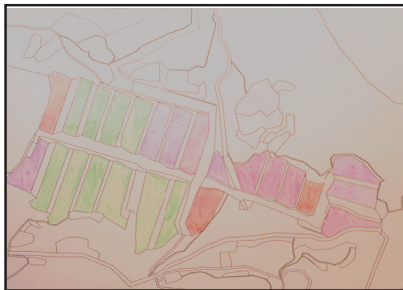


【考察】

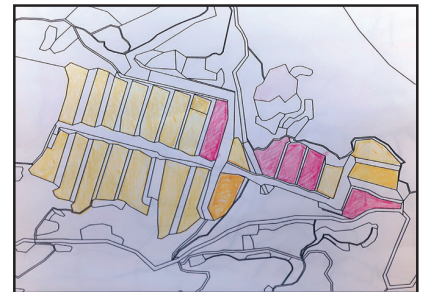
軒数は減ったが、9年前と同じ耕作面積を保持している。水路が良いため、管理する人が少なくても継続していける。

広さ	21.359反	耕作軒数 (9年前との比較)	3軒→2軒(-1軒)
標高	240~280m	集落からの距離	5km
水路	距離500m~1km弱。パイプとU字溝。二人で水路の管理をしている。		
獣害	あり(サル・クマ)		
田んぼ状況	広さ8aくらい。大きいのは18a。機械は傾斜が急で入れづらい。		
土質	良好。一部に水はけ悪い田があり耕作していない。		
畦	急傾斜10m以上あり大変。草刈りは年3回行う。		
良いところ	水争いが無い。日当たり良く量がとれて、粒が大きい。2人しかいないから全体が見れる。		
悪いところ	急傾斜のため草刈りが大変、2人しかいないから負担は大きい。		

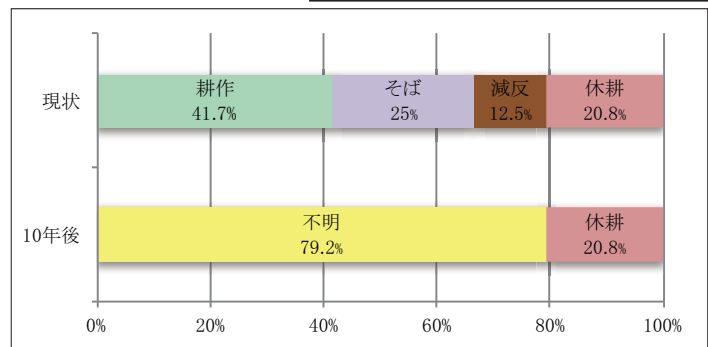
《耕作状況と10年後予測》



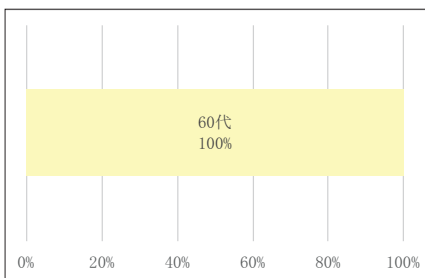
現状 41.7%

10年後 0.0%
(-41.7%)

	耕作率 (%)
2008年現状(A)	96.8
2018年予測(B)	0.0
2017年現状(C)	41.7
2027年予測	0.0
現状の差(A-C)	-55.1
予測との差(B-C)	+41.7



《耕作者年代構成》



【考察】

9年前の予測よりも良い数字であった。悪条件のため、今耕作している人がやめた場合、耕作を継続していくことは難しいと予想される。